



CLUB OFFICE  
京都YMCA 三条本館  
京都市中京区三条通柳馬場角  
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

# Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MENS CLUBS  
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2016

1

Bulletin

2016.1.1発行

第30巻第7号通巻361号

主  
題

- 国際会長** 信念のあるミッション Mission with Faith  
**アジア会長** 愛をもって奉仕をしよう Through Love, Serve  
**西日本区理事** あなたならできる！ きっとできる “You can do it! Yes, you can!”  
—生きる しなやかに さわやかに— —Live flexibly and refreshingly—  
**京都部部长** いつも喜んでいなさい  
**メネット主任** メンと共に メネットはワイズの応援団

聖  
句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、がキリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。  
テサロニケの信徒への手紙一 第5章 16-18節

会長主題

喜び楽しみ  
皆で笑おう

会 長 蒔田 茂夫  
副会長 田中 邦昭  
三村 良行  
書 記 森 伸二郎  
会 計 小野 敏明  
林外会長 蒔田 智美

運営月間

IBC・DBC

1月 例会案内

**8日(金) 新年例会**

今年は、4クラブ合同での新年例会。プリンスホテルで、午後7時からの開催です。

**20日(水) 通常例会**

第二例会は半期総会。京都部会ホストの件、設立30周年記念の件など、検討事項がいっぱいです。

例会出席

12月第一例会	12名
12月第二例会	14名
在籍者数	16名
メンバーシップ	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	pt
現金	円
累計	0円

ファンド

年越しそば	202,248円
-------	----------

累計 316,298円

ニコニコ

12月第一例会	0円
12月第二例会	10,000円
累計	26,000円



## 『半期をふりかえって』

第30代会長 蒔田 茂夫

思い起こせば前々期にまだワイズ歴の浅いわたしに次々期の会長をということになり、特にお断りする理由

も見当たらずほとんど二つ返事でお引き受けしたのが、つい先日のように思い出されます。不安は当然ありましたし、引き受けた以上はしっかり勤めようとの思いからだんだんプレッシャーを感じはじめてきました。

3月の会長研修会を経て7月のサバエワークからスタートした会長期、無我夢中であつという間に半年が過ぎました。同じ7月にはアジア大会がありマーシャルとして参加できたことは良い経験となりました。例会では半年で4名ものゲストスピーカーにお越し頂き有意義な時間を過ごせました。

11月の京都部会のバナーセレモニーは少し緊張しました。クリスマス例会ではサンタクロースに扮したのですが、やはりサンタはもう少し恰幅の良いほうがいいと思えました。またこの半年で同期会長との親睦も深まり、たくさんの事を勉強させて頂いていますし刺激もうけています。このようにいろいろな経験をさせて頂けるのも会長ならではのだと思います。当初感じていたプレッシャーも今はだんだん消え楽しさも感じてきています。

今は、わたしのような者を会長に推して頂いた事に大変感謝しています。この気持ちをこれからも忘れないで皆様に恩返しする意味も込めて来期ホストクラブとしての京都部会を大成功させる事、プリンスクラブの30周年記念事業を実りあるものにする事。この事に全身全霊をこめて取り組みたいと思っています。

とは言えまだまだ不慣れで頼りないわたしですので今後も皆様にはご心配やご迷惑をおかけするかとはい思いますがあと半期、ご指導の程宜しくお願い致します。

## 12月第一例会

2015/12/2  
荒木 利彦

12月第一例会は、京都市立病院 外科 部長の小濱和貴先生をゲストにお招きし、ロボット支援手術についてのお話を頂きました。

あまり馴染みのない分野にどんなお話しなのだろうかと、最初は困惑気味でしたが、今や10人に1人がかかる胃がんのこととなると、平均年齢が60歳に近いプリンスのメンバーも他人事ではないと興味深々。

まず、小濱先生は直接患者の身体を触るのではなく、「ダヴィンチ」というロボットを使って行う低侵襲手術をご紹介します。 「ダヴィンチ」には数本のアームがあり、先生は数m離れた場所でモニターの映像を見ながら、そのアームを操作して手術を行います。ロボットを使うことで、人間が行う時の手振れを防止する効果もあり、毛筆で米粒に漢字を書くような細かい作業も可能になるそうです。また、リンパ節の切除など人の手では届きにくい場所でも正確に手術でき、病気の再発効果も高いとのこと。

次に、実際に手術している映像を拝見させて頂きましたが、患者の腹部に「ダヴィンチ」のアームが集まり動いている姿は、病院の手術室というより製造業の工場のような感じでした。ロボットであるがゆえに触覚がないのが欠点というお話もあり、もし病気になっても、やっぱり自分はロボットより人間の手で手術して欲しいなと思ったりもしましたが、今や車の運転も自動でしてくれる時代、そのうち人ではなく全てロボットが手術する時代も来るのでしょうか。

もう一つの欠点として、この「ダヴィンチ」を使った胃がんの手術にはまだ部分的にしか保険が適用されないこともあり、その費用は100万円近くかかるとのこと。いくら病気が治ると言っても、その費用負担に病気になりそうです。早く保険適用されることを願います。

どちらにしろ、この「ダヴィンチ」のお世話にならないように、みなさん、健康に気をつけて元気に頑張りましょう！



## ごめんやっしゃ、YMCAさん

今月は二階の学校の方にやって来て、**柘あずさ**さんインタビューさせて頂きました。「あずさ」と言う名前の由来は、やはりお母さんが信州を好きで、あの梓川から取って来られたそうです。我がクラブの森さんみたいですね。ご両親が大切に育てられたお嬢さんらしく小学校・中学校・高校はノートルダムに、大学は京都府立大学へ、その間に海外への留学も経験され、英会話はなかなかのものようです。

駿台烏丸御池校に就職。約年4程努められた後、YMCAに就職。もう4年が経とうとしておられます。その間ずっと2階の学校に勤務されています。

どうしてYMCAに来られたんですか？との問いかけに、私は祖父の頃よりクリスチャン(カソリック)で、幼稚園から高校までずっとキリスト教の学校で、子供の頃から教会に行っていたので、何の抵抗もなかったから、選んだのかも。就職試験の時にYMCAの意味を書いてください。と言うのが有ったんですが、実は意味を知らなかったんです。適当に考えて書いたのが合っていたのです。・・・YMCAがどんな活動をしているか？なんて、何にも知らずに入職したんですよ。ニコニコ笑いながら答えて頂きました。

一昨年は、YMCAよりミャンマーのスタディツアーに、YMCA同盟の元総主事の山田公平氏と共に参加し、色々とお話を聞いて来られ、最近では、ワイズメンの人達の顔と名前が一致してきましたと、答えて頂きました。将来は、中国語、フランス語、アラビア語を喋れるようになりたいです。なぜなら、京都に来られた人達と交流を持ち、京都の魅力やその人達の国の事を話し合いたいからです。その為にはいろんな言葉を喋れないとだめですよ。なんて言われちゃいました。

チョットのんびり屋さんみたいだけど、YMCAの事をしっかりと理解されているんだなと感じました。





ホワイトクリスマスならぬ小雨模様の暖かいクリスマスになりました。今年も京都ウエルクラブとの合同クリスマス例会、コメント不足で今年もマゴメットにも参加してもらい、どうかその形ができました。今日はメネットの参加もあり、会場は華やいだ雰囲気になっています。

午後6時開会、コメント、マゴメットによるキャンドルサービスで始まりました。今年はワイズソングで心を一つにして祝会は進行されました。しかし壇上の子供たちの少なさに、昔を思い出してしまいました。年に一度、この日のためにメネット、コメントと一緒に楽しく参加したこと。いつも例会でこんなに美味しいものを食べているの？とメネットに言われ、今日は特別と言いついたことや、着飾ったコメントの嬉しそうな笑顔、サンタさんからの贈り物に歓声をあげたことなど、いま一人でこの例会に参加していると、若かりし頃が思い出されます。どうすればみんなに喜んでもらえるか、食事は？子供たちの年齢は？プレゼントはこれでいいのか？などドライバー委員長になったときなどは、最高に緊張したものでした。

半期を迎えた蒔田会長のあいさつももう慣れたもの。最近は何事もなく余裕すらうかがえます。そして聖書朗読は辻中連絡主事。今年は何事もなく先に来ていただき格調高くお話をいただきました。

サンタが登場、お供にトランプ大王、ここ最近はこのパターン。子供たちへのプレゼントもサンタクロースが配達。職業柄サンタの前まで取りに来てとは言いにくかったのかと推察。

ウエル田栗会長のあいさつ、乾杯で楽しい食事タイム。アルコールも入り交流が深まります。楽しく食事を済ませた後は、アトム健児さんの爆笑パフォーマンスタイム。コメントたちはステージにかぶりつき。大きな笑い声で会場は包まれました。

今年最後の運試しのドアブライズ（抽選会）。景品を見てチケットを購入するものと思っていたのですが、まずチケット購入が先とは、我がほうの作戦負け。見事はずれて帰宅後メネットに敗戦報告。〈あほやね〉と冷たく……………

こうしてクリスマス例会はお開きとなりました。



## プリンスクラブ 設立30周年に向けて

森 伸二郎



企業の寿命は30年と言われていました。なぜそうなのか？ 技術革新や社会の変化によって、設立時のビジネスモデルが古くなり、モデル転換ができないと企業寿命が尽きてしまうのが理由だと聞いています。

1986年バブル経済の真っ只中、キーメンバー11名、チャーターメンバー12名、合計22名でプリンスクラブは生まれました。チャーターから4年後には、メンバー数40人となり、京滋部部長を輩出し部会をホスト。その後、50人に迫るメンバー数となったのですが、10周年を過ぎてバブル経済が崩壊し、平成となった頃からメンバー数は伸び悩みました。時期を同じくしてYMCAの運営にも陰りが見え始めました。プリンスクラブが誕生した頃は、豊かな経済に支えられての心の豊かさを求めてという、企業で言うところのビジネスモデルが、受け入れられていたのだと思います。

現在メンバー数は、15,6人で増えたり減ったり。設立から30年が過ぎたプリンスクラブも、そのビジネスモデルに当たるものを、転換する時期に来ているのだと思います。ワイズメンズクラブが負うべき使命を、より社会のニーズに適したものと変革する必要性を強く感じます。しかし多様化する社会の中で、どのように変革すればいいのか、その答えを今の私は持ちえません。皆と一緒に考へ行動することで、新しいモデルでの30年が始まるのでは。

過去の栄光に引きずられる事無く、新しいプリンスクラブを見つけるきっかけの年が、30周年であって欲しいと思っています。特に派手な記念事業や記念例会をするのではなく、毎月2回の例会や委員会事業が、新しい30年の出発点となりえるものを、メンバー全員で作る事を、30周年の記念事業としては如何でしょうか。

# 2016年 今年の抱負

人が喜んでくれる事をする事で、自分も喜べる。そんな事を実現できる年にしたいと思っています。  
岡西博司

大変な1年になりそうです。人の話をよく聞いて、みんなの行動に学び、一人でも多くの人と楽しく語り明かしたい。できれば最後の・・・も希望。  
廣井武司

最近仕事に携わりつつ、自分自身の勉強不足を感じていますので、昨年の規格改定を機に環境マネジメントシステム審査員資格の取得を目指したいと考えています。  
宇高史昭

昨年はサラリーマンのワイズ活動の難しさを痛切した一年でした。例会その他イベントに満足に参加できませんでしたが、今年は時間を作れるように頑張りたいと思います。  
荒水利彦

会長主題のとおり、もっと喜びもっと楽しみたいと笑える一年にします。あと半期の会長期をしっかり勤めさせて頂き来季の京都部会、プリンスクラブの30周年事業に貢献できるように頑張る。  
蒔田茂夫

プリンスクラブの活動にも家族と一緒に参加出来るようライフスタイルを変え、家族皆で活動を楽しもうと思います。  
今西英隆

京都部会が成功の裡にできますように、半期もがんばって、実行委員会のサポートに徹底し且つ、今期蒔田会長の主題『喜び楽しみ皆で笑おう』の例会を推進してゆきます。  
西村博

心身ともにベストコンディションを維持出来る様、ストレスを蓄積しない生活を心掛ける  
齋藤謙治

孔子曰く、【四十にして惑わず】から3年が経過。最近になり、惑う機会が減った。次の【五十にして天命を知る】まで後7年。今年は避けてきた【天命】について考え始める年にしようと思う。  
小野敏明

昨年のオータムフェスタで一人の女性の方から突然、「先日は大変お世話になり、本当に楽しかったです」とお礼を言われ、はてさてと不思議な顔をしていますと、9月のファミリーキャンプに参加された方と分かり内心うれしく思いました。今年も皆様に喜んでいただくキャンプを企画したいと思っております。これが会員増強に繋がれば主っとうれしいのですが。  
飯尾豊

はや、八会して25年が過ぎました。そしてクラブは、30周年を迎えます。それぞれのキャリアを活かせる一年でありたいです。  
森伸二郎

60歳は「耳順」。今まで以上に人の言葉を素直に聞き、若さを保つ1年にしたいと思います。新しい趣味も見つけられたらいいと思います。  
辻中康宏

日々の生活にワイズ活動を取り込み、咀嚼できた物をワイズ活動に生かしてゆき自身の糧としたい  
田中邦昭

月並みですが、毎日健康に生きることを。そして京都部会を無事終わらせることです。皆様ご指導よろしくお願ひします。できればゴルフのハンディを下げたいです。  
樫木徳子

今年は体調管理に努め、仕事とクラブライフを充実したものにしていきたいと思っています。  
三村良行

気持ちは若く、好奇心を持って、日々取り組んでいこうと思います。  
毛利隆志

## ワイズ談義



今年は、日本中のワイズメンから、ワイズの楽しみ方、ワイズの良さ、ワイズを続ける秘訣、ワイズの原点とは何ぞや等のお話を聞かせて頂こうと思ひ、ワイズ談議というコーナーを作りました。是非、お読み下さい。



池田 正勝  
(十勝クラブ)

### 出会いは出なきゃ ワイズメン

ここ十勝の旭山、銀世界、わが大草原の小さな家の窓からリスやきつねが動き回っている光景に癒されている日々である。

北海道に移り住んで45年、十勝クラブも来年40周年、一緒に歩み続けて現在に至っている。そこからスタートしたワイズ人生、出会いのY(Y's)、Y (YMCA)、Y(ワイワイ)に支えられ育まれてきた。

初めて参加した79年第34回日本区姫路大会での興奮と感動は今でもよく覚えている。道東で開催された96年第2回東副区大会(阿寒グランドホテル)、99年第18回アジア地域十勝大会(幕別町百年記念ホール・幕別温泉ホテル緑館)、09年第12回東日本区大会(とちちプラザ・ホテル日航ノースランド帯広)等、東西両区だけでなく世

界のワイズメンとの交流の場で、更にワイズの輪が広がった。

十勝クラブは、チャーター以来、地元の生産物であるじゃがいもをメインにファンド事業を実践している。そのため東日本区に限らず全国のクラブやYMCAと、より親密な関係を持たせていただいていることは感謝である。単なる物流でなく、生きている食べ物を通して心の交流を図りたいと願ってきた。ワイズの目的や信条に沿った事業であるかどうか反省しつつ、この活動が神様から祝福されますようにと祈っている。

IBCやDBCの関係でコメントたちを東京や京都のクラブメンバー宅でお世話になったことがあった。十勝にもきてもらいワイワイと食卓を囲み、大型コンバインの試乗体験やキャンプを楽しんだりもした。かつてのコメントたちは皆立派な大人になり、小生も高齢化が気になるころだが、これからもファミリーの関わりを強め、新たなY'sやY活動を模索していくべきと強く思う。

「若者は幻を見 老人は夢を見る」さあ、新たな出会いを求め、行動するワイズライフを楽しみましょう!!

### プリンスクラブ・メンバー紹介

三村 良行 (みむら よしゆ)



プリンスクラブメンバーの皆さん新年のお慶びを申し上げます。

私は1962年3月16日生まれの53歳です、家族構成は愛妻の和美、長女ももこ、長男雄蔵と愛犬クリスの4人と一匹で毎日賑やかに日々を過ごしています。

愛犬のクリスはクリスマスイブにペットショップより家族の一員と成り命名、昨年11月に満15歳になり大型犬としては長生きな方で自病も無く元気であると獣医さんからお墨付きをもらっています。年のせいで少し介護が必要ですが家族の一員として一日でも長生きしてほしいです。プリンスクラブに入会させて頂いたのは28歳のときで、長男雄蔵はその年に生まれクラブよりお祝いを頂いた思い出が残っています。小学校低学年から高校卒業まで水泳を続け中高と近畿大会に出場しました。現在はおなかの出通り全く泳いで

いないので一度YMCAのプールでお世話になりたいと思っています。7年前に指に大きいけがをして以来やめていたゴルフも去年蒔田会長はじめメンバーの皆さんのおかげで復活させていただきました、特に樫木ワイズには、コースへのお誘い、レッスンプロの御紹介を頂き感謝しております。今後ともクラブライフ、ゴルフ、飲み会等でご一緒させて頂き楽しく日々を送りたいと思っています。よろしくね!

### サンライズクラブ大より

12月は恒例の山中クリスマスで、山中湖センターに出かけました。「地域の子どものためのクリスマス」のお手伝いで、今年もページェントと

ビンゴを担当しました。終わって、富士五湖クラブとの合同例会、クリスマス祝会を行いました。毎年暖炉の灯を囲んで夜遅くまで語らいます。よろしかったら来年は山中湖へお越しください。

そして12月はお散歩例会。今回はメンバーの御園生さんの地元、所沢を歩きました。旨いそばを食べ、コロケや焼き団子を立ち食いし、日本の「航空発祥の地」航空公園で、飛行機の歴史や実物の飛行機に触れて感激しました。最後に所沢の駅ビルで忘年会を行い、一年の締め括りとなりました。

今年も大変お世話になりました。新年が皆さまにとって良い年でありますようお祈りします。



### 1. 平和のための開発教育セミナー

平和をテーマにした「開発教育」の入門編のセミナーです。疑似体験やグループワークを通じて、気づきを人と分かち合うことから、自分の考えを振り返るきっかけを作ってみませんか？ぜひご参加ください。

- ①日 時:1月22日(金)午後7時～9時  
テーマ:貿易ゲーム
- ②日 時:2月26日(金)午後7時～9時  
テーマ:フォトランゲージ—地球の食卓
- ③日 時:3月25日(金)午後7時～9時  
テーマ:「ちがいのちがいがい」

場 所 京都YMCA 三条本館  
 対 象 興味と関心のある方 参加費 無料  
 お申込み(TEL)075-231-4388  
 (E-mail)kokusai@kyotoymca.org  
 ※①②③のご希望会を、電話またはメールにて事前にお申込みください。

### 2. 春のスキーキャンプ参加者募集中！

#### スキーだいSUKI

対象 小学1年～6年生  
 日程 2月12日(金)～ 14日(日) 2泊3日(2泊5食)  
 行先 今庄365スキー場(福井県)  
 費用 48,600円(税込) (内申込金10,000円)

### 雪ん子スキー幼児

C日程 2月13日(土)～ 14日(日)  
 D日程 2月20日(土)～ 21日(日)  
 1泊2日(1泊3食)  
 行先 箱館山スキー場(滋賀県)  
 費用 213,220円(税込) (内申込金4,000円)


### ファミリースキー春

日程 3月18日(金)～21日(月・祝)3泊4日(3泊5食)  
 行先 志賀高原 高天ヶ原マンモススキー場(長野県)  
 費用 大人:63,180円(税込) (内申込金13,000円)  
 小学生:49,140円(税込) (内申込金10,000円)  
 幼 児:43,200円(税込) (内申込金 8,000円)

### 3. ネパールチャリティーバザー

ネパールYMCAが運営する児童養護施設の支援のためにネパールチャリティーバザーを開催します。世界の料理が味わえる屋台やバザー、ネパール文化とふれあえるイベントも企画中です。収益金はネパールYMCAの児童養護施設の支援のために使われます。バザーの商品も募集中です。ぜひご協力ください。  
 日時 2月7日(日)午前11時～午後3時  
 お問い合わせ 075-231-4388

全てのプログラムお申込・お問合せは 三条本館 電話075-231-4388 まで

12月度 役員会報告	1月 スケジュール	1月 
<p><b>報告事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●上半期事業報告書が提出され、記載内容に関して確認し承諾した。</li> <li>●部会実行委員会からの報告があり、舞鶴ワイズメンズクラブのチャーターナイトは、部会とは切り離して準備を進める。また、チャーターナイトの開催費用も部会外とすることを京都部に申し出る。</li> </ul> <p><b>承認された事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● なし</li> </ul>	<p>8日(金) 新年例会            19:00 グランドプリンスホテル</p> <p>20日(水) 半期総会            19:00 グランドプリンスホテル</p> <p>27日(水) 役員会            19:30 京都YMCA</p>	<p>15日 今西 英隆 ワイズ            19日 森 伸二郎 ワイズ            22日 宇高 史昭 ワイズ</p>
<p><b>編集後記</b></p> <p>新しい年を迎え、気分一新して、頑張りたいと思います。正月は東山荘で、毎日富士山を眺めていました。時には黙想館で瞑想にふけてきました。「姥捨山」の話最後まで聞いて、感動して帰ってきました。(おそらく僕達は最初の部分だけを知っているのだと思います。)今年、その姥捨山の話をもっとしていきたいです。</p>		

